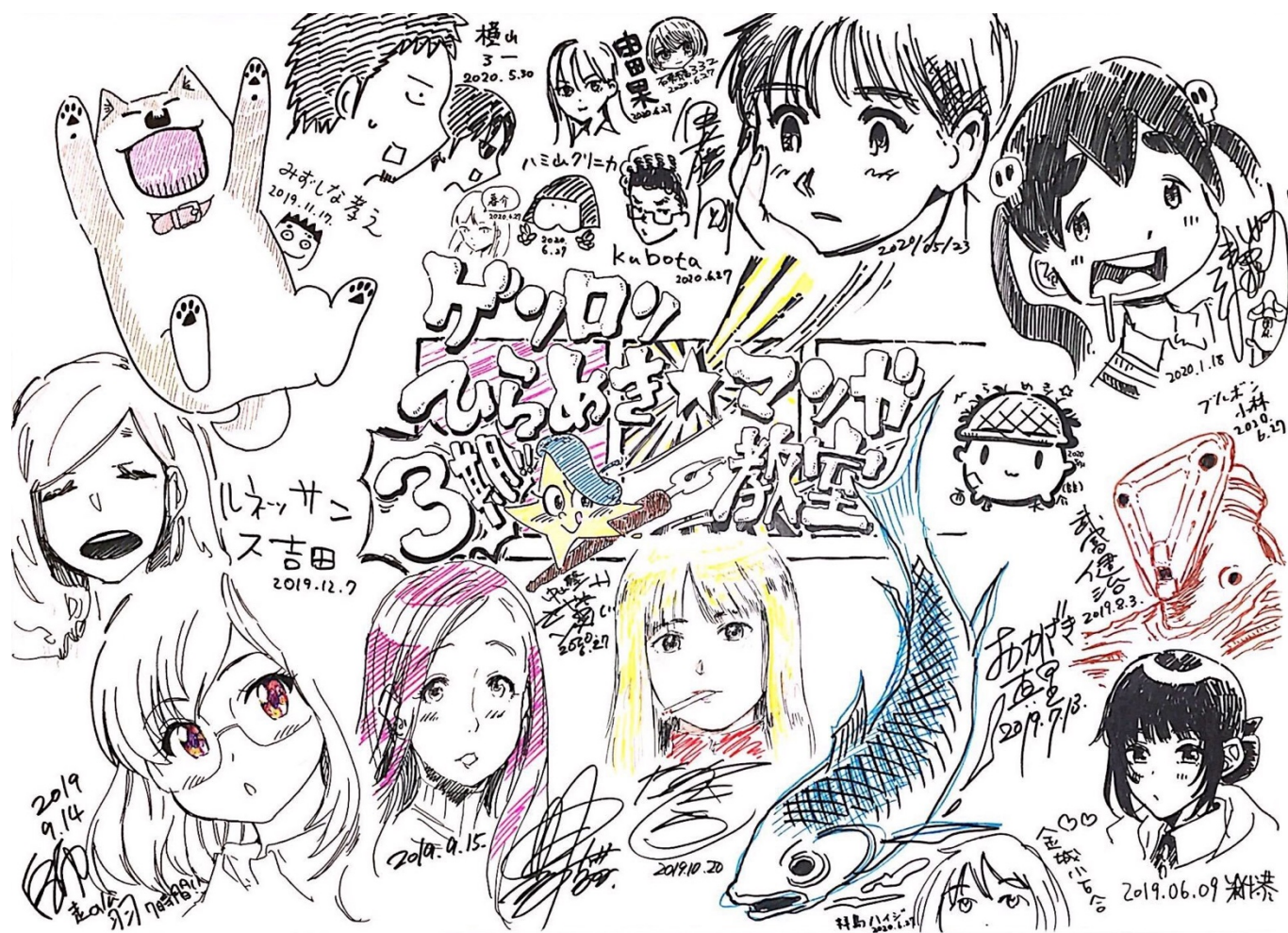


ゲンロン ひらめき☆マンガ教室
GENRON HIRAMEKI ☆ MANGA SCHOOL



1 概要

株式会社ゲンロン（代表：上田洋子）が運営する、マンガ家育成のためのスクール「ゲンロン ひらめき☆マンガ教室」の第4期（2020年度）が、2020年9月より開講いたします。主任講師を務めるのは、批評家・マンガ原作者のさやわか氏です。

第4期では新たなゲスト講師に**水上悟志氏**（『スピリットサークル』『プラネット・ウィズ』）、**慎本真氏**（『先輩！今から告ります！』『不祥事アイドル』）などをお招きします。

また、**伊藤剛氏**（東京工芸大学マンガ学科教授）、**武富健治氏**（『鈴木先生』『古代戦士ハニワット』）、**みずしな孝之氏**（『いとしのムーコ』）、**横山了一氏**（『戦国コミケ』）、**米代恭氏**（『あげくの果てのカノン』『往生際の意味を知れ！』）ほか、第3期から継続してゲスト講師として参加します。最終講評会の審査員にはさやわか氏、武富健治氏に加え、コラムニストの**ブルボン小林氏**、小学館編集者の**金城小百合氏**をお招きします。

本スクールは、マンガの描き方を教えるだけではなく、「マンガ家になる」ための実践的な講義やワークショップを行うことが特徴です。前期（第3期）では、受講生の約4分の1が、マンガ賞を受賞または雑誌媒体などへの掲載を果たすなど、大きな活躍を見せています。



ひらめき☆マンガ教室第3期の授業風景

2 実施概要

実施期間：2020年9月5日～2021年8月28日

会場：ゲンロンカフェ（〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-11-9 司ビル 6F）

講師：主任講師：さやわか

ゲスト講師：伊藤剛、大井昌和、黒瀬陽平、師走の翁、慎本真、武富健治、水上悟志、みずしな孝之、横山了一、米代恭 ほか

最終講評会 審査員：武富健治、ブルボン小林、金城小百合、さやわか

定員：正規受講生：25名 聴講生：15名

募集期間：2020年6月27日～2020年7月31日

受講料：正規受講生 290,000円（税別）同人誌制作費・同人誌販売経費・修了作品選考料を含む
聴講生 145,000円（税別）

※先着順での受付となります。定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

3 主任講師 さやわか氏より



主任講師 さやわか

あなたはマンガを、どうする？

ひらめき☆マンガ教室は、一般的なマンガ教室のような「絵の描き方」や「ストーリーの作り方」などは、ほとんど教えません。

にもかかわらず、昨年度の受講生の皆さんは、大きな結果を残してくれました。全33人のうち8名が、マンガ賞を受賞または雑誌媒体などへの掲載を果たしたのです。一人で複数の受賞や掲載にいたった、すごい例もいくつかありました。

受賞や掲載ではなくとも、出版社に担当編集者がついてマンガ作りを開始した受講生も数多くいます。そういう人を含めると、昨年の受講生のうち三分の二以上の人たちが、何らかの形で外部へと羽ばたいていきました。

このように書くと「もともとマンガの能力が高い人が集まったのだろう」と思う人がいるのですが、断じて、そうではありません（本当に）。たしかに、商業活動の経験のある人もいました。しかし、一度もマンガを描いたことがない人が受賞にいたったケースも、複数あるのです。

そもそも、実はひらめき☆マンガ教室は、必ずしも商業マンガを目指さなくてもいい、という教え方をしています。アマチュアでも、プロでも、マンガにかかわるあらゆる人が、自分に役立てられる場所です。

なぜなら、この教室が重視することは、究極的には「あなた自身がマンガをどうしたいか」だからです。

すこし詳しく説明しましょう。ひらめき☆マンガ教室では、毎月、課題が出されます。なかなか大変ですが、豪華なゲスト講師の皆さんの出される課題は効果的なものばかりです。毎回こなせば、絶対に、あなたのマンガの力は向上します。

しかし、ここからが肝心です。出来上がった作品について、必ず問われるのは、あなたが「どんな意図で」そのような作品を描き、表現をしたのか、ということです。あなたはそこで、自分を見つめ直すことを

求められます。なぜ自分はそんな表現をするのか。なぜそんな作品を描くのか。どこにその作品を掲載しようと思って描いたのか。突き詰めれば、あなたはなぜ、マンガを描くのか。

絵でも、ストーリーでも、キャラクターでも、マンガのあらゆる表現には、そのように描かれる理由があります。どんなコマ割りをするのか、どんな線の太さで描くのか。どんなトーンを貼るのか。どんなジャンルやテーマで描くのか。はたまた、紙の雑誌で連載をするならそのための描き方がありますし、SNSで人気になるマンガを描くのにも、そのための描き方があります。それを自分で意識するのが、あなたの表現の「意図」ということになります。

百戦錬磨のゲスト講師の皆さんと、主任講師の僕は、あなたの課題の「意図」を聞いて、それがもっとうまくやれるマンガの技術を教えます。あるいは、あなたのやりたいことが効果を発揮する掲載媒体を、あなたと一緒に考えることもあります。

課題を提出できないものの、毎回の講義を聴くことができる「聴講生」という制度もあります。聴講生には、正規受講生たちの成長を応援する「最初の読者」になれる醍醐味がありますし、講義を聴けば自分のマンガについての考えを深められるのは無論です。実は聴講生にも、才能を開花させる人はたびたび現れています。

しかし、より深く考えたいなら、正規受講生になることをおすすめします。あなたは、商業マンガ家になりたいのでしょうか。同人活動を充実させたいのでしょうか。マンガが描けないから、技術を身につけたいのでしょうか。どんな作品が描きたいですか。それが描けていますか？ どんな場所で、誰に読んでもらいたいですか？ あなたは自分にとってのマンガを、どんなものにしたいのでしょうか？

その自問自答を全力でサポートして、一年後のゴールと一緒に目指すのが、ひらめき☆マンガ教室です。ご応募、お待ちしております。

(主任講師 さやわか)

4 昨年度（第3期）受講生の主な活躍

由田果さん

第86回小学館新人コミック大賞少年部門 入選・部門トップ
（由田果「俺が花火に勝てるとしたら」）

五月十三日さん

第77回ちばてつや賞一般部門 奨励賞受賞
（五月十三日「こんな僕にも花がある」）

吉田屋敷さん

ヤングマガジン 第478回（2020年2月期）月間新人漫画賞・奨励賞受賞
（吉田屋敷「それは正常位で挿入して4往復したころの出来事だった」）

ハミ山クリニカさん

「#君のことばに救われた」投稿コンテスト 特別賞（阿部広太郎賞）受賞
（ハミ山クリニカ「水没オフィスの22時」）

多花森さん

『サンデーうぇぶり』「第6回サンデーうぇぶり 新人賞」フリー部門銅賞
（多花森「SUN&MOON」）

kubota さん

『good! アフタヌーン 2020年3月号』読切掲載
（久保田かど「二度目の行列」）

タケチイチコさん

『週刊漫画 TIMES 2020/2/21号』読切掲載
（タケチイチコ「やっぱり顔が好き？」）

相澤亮さん（聴講生）

『週刊漫画 TIMES 2020/4/24号』から「面影橋忘れ物堂」が連載開始

参考 URL

ひらめき☆マンガ教室 <https://school.genron.co.jp/manga/>

ひらめき☆マンガ教室 Facebook ページ <https://www.facebook.com/genronmanga>

ゲンロンスクール <https://school.genron.co.jp/>

ゲンロン <https://genron-tomonokai.com/>

ゲンロンカフェ <https://genron-cafe.jp/>

【『マンガ家になる！』】

「ひらめき☆マンガ教室」第1期の講義をまとめた単行本。第1期でゲスト講師を務めた横槍メンゴ、TAGRO、こうの史代、江口寿史ら各先生をはじめとし、プロのマンガ家のさまざまなエッセンスが凝縮された、他に類を見ない指南書として注目を集めています。

<https://amzn.to/2DyMXiG>

【「第3回 ゲンロンひらめき☆マンガ大賞」選考会】

2020年6月27日（土）、ゲンロンカフェにて〈ゲンロン ひらめき☆マンガ教室〉第3期の最終講評会となる「第3回 ゲンロンひらめき☆マンガ大賞選考会」が開催されました。講評会の模様は、Youtube でご覧いただけます。

Youtube : <https://youtu.be/ru7CfLTle5I>

提出された受講生作品一覧 : <http://school.genron.co.jp/works/manga/2019/subjects/11/>

主催、問い合わせ先

株式会社ゲンロン

〒141-0031

東京都品川区西五反田 1-16-6 イルモンドビル 2F

tel.03-6417-9230 / fax.03-6417-9231

Mail. info@genron.co.jp (担当 堀内、松井)

<http://genron.co.jp>